

自分に負けるな！「できるよ」

始業式に皆さんに挨拶ができなくてごめんなさい。改めてとなりますが「お帰りなさい」。やっぱり学校はいいですね。苦しいこと、悲しいこと、辛いこと、何があっても、ここには荒工生がいてくれ、心強く感じるができます。

さて、年末年始は、若い力の躍動を感じるが多かったです。バスケットのウィンターカップ、サッカーの選手権大会、大学生箱根駅伝などなど。若い力に魅せられ、「頑張るぞ」と自分を奮い立たせる瞬間が多くありました。

選手たちは力を発揮する場面を想定して、1年または複数年にわたり、自分を鍛え続ける。必ず成功するかはわからない中、不安を打ち消すのは努力を続けることだったのではと思います。残念ながら、私は「もっとうまくなりたい」「もっと力をつけたい」よりも「このぐらいでいいか」「これ以上無理」とあきらめがちです。その理由は、これから先の努力を続けることができる時間の可能性だと思います。皆さんと私が「よーい！ドン」で何かを始めたとします。単純に長く努力し続けられる可能性があるのは皆さんだということはわかりますよね。だから、皆さんが「やらない」と思うのはもったいない。

今できないことは多いかもしれませんが、それは生涯できないことではないです。簡単に諦めてはいけません。10年、20年、30年と努力を続ける時間を考えれば、「できないことはない」と思いませんか？

私の父は、40代で失明して70歳まで働き続けてきました。目からの情報がないなら耳から情報を入れればいいと、新しい知識を身に付ける努力を続けていました。私はそんな父から「努力して、お前にできないことはないよ」といわれ続けてきました。

そんな私から皆さんに「皆さんにできないことはないよ」「がんばれ！」



あらこう散歩

【全日制】2月のマラソン大会に向けた体育の授業が始まっています。生徒と逆向きに走り、一人ひとりの生徒に「がんばれ！」と声をかけ続ける海山先生。凄いですね！誰にでもできることではないですね。止まって見守ることも大切ですが、真剣に走ることを伝えるのは、先生の背中であり、先生の真剣な眼差しです。1年C組の生徒は1週700メートルを2分40秒台で走る生徒もいます。ちなみに、私は3分を切ることはできませんでした。先生に後押しされた若いパワーに圧倒された瞬間でした。

【定時制】新学期の授業を見て回っていると、皆さんの成長を感じます。4月からの新しい生活に向けた準備を各学年で行っていると思います。4年生の課題研究発表会楽しみにしています。後輩たちに4年生らしい姿を見せてくださいね。

成長し尽くせ！荒工生！

「未来を創る！彩る！荒川工業」

